

有機入り亜リン酸液肥

な

さい

菜

彩

1-30-16



NET 1.4Kg、14Kg

製造元

① ダン化学株式会社



◎菜彩の保証成分

農林水産省登録番号	生第 87647 号	
保証成分量	窒素全量	1.0%
	水溶性りん酸	30.0%
	水溶性加里	16.0%
有機窒素含有率	100%	

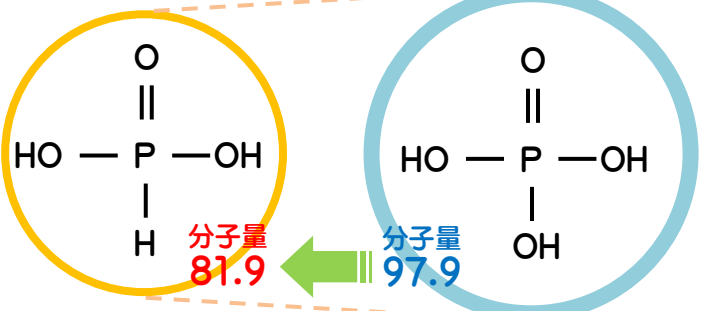
◎有機の特長

- ・肥料業界では全く新しい有機物です。
- ・植物から抽出した有機物を使用しており、吸収率が高いです。
- ・植物体内の物質代謝過程を促進させます。
- ・浸透圧平衡作用により、組織内の安定化、抗病性の改善につながります。

◎亜リン酸とは

- ・正リン酸に比べ分子量が小さいため、葉面からの吸収率が高いのが特長です。
- ・糖度アップ、着色向上、品質向上、活着促進、花芽促進、登熟促進の効果を発揮します。
- ・植物体内の病害に対する抵抗性促進の効果があり、耐病性向上につながります。

亜リン酸 H_3PO_3 正リン酸 H_3PO_4



正リン酸と比較し16%小さいので吸収率 UP!

◎菜彩の各作物における効果

- I 果樹（リンゴ、ナシ、ブドウ、サクランボ等）の着色向上、糖度向上、耐病性向上。
- II 果菜類（トマト、キュウリ、イチゴ、メロン等）の肥大促進、糖度向上、耐病性向上。
- III 葉菜類（ハクサイ、キャベツ、ネギ、ホウレンソウ、チンゲンサイ等）の収穫時期の短縮、耐病性の向上。
- IV 豆類（大豆、小豆、インゲン等）の収穫量向上、耐病性向上。
- V 芝生の根の伸長、保肥、保水向上、耐病性向上。

※ボニトエキス青ラベル(4-1-3)と併用してご使用いただくと効果は更に高まります。

⚠ 使用上の注意事項

- ・「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないで下さい。
- ・高温、乾燥時期等の葉面散布期に適さない条件下での散布は行わないで下さい。
- ・アルカリ性農薬、カルシウム資材との混用は行わないで下さい。他の農薬、資材と混用する場合は、必ず小実験を行ってからして下さい。
- ・他肥料との原液同士での混用は行わないで下さい。
- ・用量、用法をお守り下さい。肥料用途以外には絶対にご使用にならないで下さい。

⚠ 保管上の注意事項

- ・ご使用後は必ず密栓して保管して下さい。開栓した状態で保管しますと、品質が変化する場合があります。
- ・直射日光、高温多湿を避け、乳児・幼児の手の届かない場所で保管して下さい。

◎菜彩の使用法

葉面散布	散布間隔	稀釈倍率	施肥回数
定植期間	7~14日	1500倍液	1~2回
生育中期 ~後期	7~10日	1000倍~1200倍液	3~4回
肥大期	7~10日	1000倍~1200倍液	3~4回
芝生	30日	1㎡当たり2~3ml	3~4回

